

令和元年11月7日に開催した令和元年度第7回公立大学法人静岡文化芸術大学教育研究審議会の結果は、次のとおりである。

1 中日新聞社・静岡新聞社による共同連携授業に関する協定書の締結について（審議）

(1) 趣旨

中日新聞社・静岡新聞社による共同連携授業を本学で行うことについて、経緯の説明がされ、協定書案が示された。

(2) 審議結果

原案で承認。

2 研究生の出願等について（審議）

(1) 趣旨

学部研究生・大学院研究生の出願期間を定めること、問合せ窓口を教務・学生室に一本化すること、出願受付は入試室が行うこと、これらを大学公式WEBサイトに掲載することについて提案がされた。

(2) 審議結果

出願期間以降の対応を再検討することとし、これを除き、原案で承認。

3 国際文化学科の英語名称変更について（審議）

(1) 趣旨

国際文化学科の英語名称を「Department of International Culture」から「Department of Intercultural Studies」への変更が提案された。

(2) 審議結果

原案で承認。

4 2019年度就職内定状況について（報告）

10月31日現在の就職内定状況が報告された。昨年度より若干内定率が上がっている。

5 英語成績提供システム導入の延期に対する本学の対応について（報告）

11月1日に発表された英語成績提供システムの導入延期に関する文部科学大臣からの声明が伝えられ、本学の対応について早急に検討する予定であることが報告された。